

茨城県において採集された北限記録のカタボシイワシ

山崎和哉・外山太一郎

Northernmost records of *Sardinella aurita* Valenciennes, 1847 from Ibaraki Prefecture, central Honshu, Japan.

Kazuya YAMAZAKI and Taichiro TOYAMA

キーワード：カタボシイワシ，ニシン科，サッパ属，北限記録

はじめに

カタボシイワシ *Sardinella aurita* Valenciennes, 1847 はニシン科サッパ属の一種で、インド・西太平洋と大西洋に広く分布している（畑ら，2022）。2023年の2月に筆者らは茨城県ひたちなか市の那珂湊漁港において本種5個体を採集した。本種はこれまで日本近海において太平洋側では東京湾以南，日本海側では若狭湾以南から記録されており（畑ら，2022），茨城県からの記録は知られていない。本研究ではこれらの標本に基づき，本県初記録および日本近海における北限記録としてここに報告する。

方 法

採集した標本は10%ホルマリン水溶液で固定し，その後70%エタノール水溶液で置換して保存した。標本の計数・計測方法は中坊・中山（2013）にしたがった。標準体長は体長と表記した。計測はデジタルノギスを用いて0.01 mm単位まで行い，小数第2位を四捨五入した。本研究に用いた標本は国立科学博物館（NSMT）に保管されている。

記 録

Sardinella aurita Valenciennes, 1847

カタボシイワシ（図1）

標本：NSMT-P 147059，体長 174.8 mm；NSMT-P 147060，体長 174.1 mm；NSMT-P 147061，体長 118.2 mm；NSMT-P 147062，体長 173.5 mm；NSMT-P 147063，体長 118.1 mm，茨城県ひたちなか市那珂湊漁港，2023年2月11日，水深1 m，水温12.3℃，釣り，山崎和哉・外山太一郎。

備考：本標本は上顎前縁に欠刻がなく丸いこと，上顎に対する下顎の突出がわずかであること，第2上主上顎骨の下半分が肥大せず上下対称であること，主鰓蓋骨に骨質条線がなく平滑であること，背鰭前方鱗が体の正中線上に並ばず，左右交互に配列すること，腹部正中線に稜鱗があること，臀鰭最後の2軟条が太く伸長すること，腹鰭軟条数が9であることが，青沼・柳下（2013）の示したカタボシイワシ *Sardinella aurita* の標徴形質とよく一致したため，本種に同定された。

本種の国内における分布記録は畑ら（2022）に詳述されており，若狭湾，山口県の日本海沿岸と上関町，玄界灘，長崎県佐世保市黒島，千葉県，東京湾，相模湾，静岡県牧之原市，遠州灘，三重県，和歌山県，大阪湾，高知県高知市，渭南海岸，愛媛県瀬戸内海沿岸，豊後水道，宮崎県門川湾，九州南岸および大隅諸島種子島から記録されている。本研究により，茨城県における分布も確認された。



図1 茨城県ひたちなか市で採集されたカタボシイワシ (NSMT-P 147060, 体長 174.1 mm)

Fig. 1. Fresh specimen of *Sardinella aurita* collected from Hitachinaka City, Ibaraki Prefecture (NSMT-P 147060, 174.1 mm SL).

カタボシイワシは上述のとおり南日本の広範囲から記録されているが、茨城県における記録はなかったため、本研究に用いた標本が本県における初記録となる。また、これまで知られていた本種の日本近海における分布北限は東京湾であったため(工藤・瀬能, 2020; 畑ら, 2022), 本標本が北限記録となる。関東地方沿岸においては2007年に相模湾(山田・工藤, 2011), 2011年に東京湾(工藤・瀬能, 2020), 2021年に房総半島太平洋側(畑ら, 2022)で採集されているが、それ以前は記録されていなかった。本種は日本沿岸で急速に分布を拡大させていることが報告されており(畑・本村, 2017; 船木・斎藤, 2018), 本研究もこの傾向を支持するものと考えられる。

謝 辞

標本の登録に関してご支援を賜った、国立科学博物館の中江雅典氏および佐藤真央氏に厚く御礼申し上げます。

文 献

青沼佳方・柳下直己(2013) ニシン科, 中坊徹次(編) 日本産魚類検索 全種の同定. 第三版.

pp. 297-301, 1811-1812. 東海大学出版会, 秦野.

船木 修・斎藤真美(2018) 神奈川県海域でのカタボシイワシの出現状況について. 神奈川県水産技術センター研究報告; (9): 5-8.

畑 晴陵・本村浩之(2017) 高知県から得られたニシン科魚類カタボシイワシ *Sardinella lemuru* の記録および本種の日本における出現状況. 四国自然史科学研究; (10): 41-45.

畑 晴陵・佐土哲也・中江雅典(2022) 千葉県から得られた分布東限記録のニシン科魚類カタボシイワシ. *Ichthy, Natural History of Fishes of Japan*; (21): 31-38.

工藤孝浩・瀬能 宏(2020) 横浜, 川崎および中ノ瀬海域から初記録の魚類 VI. 神奈川自然誌資料; (41): 53-60.

中坊徹次・中山耕至(2013) 魚類概説 第三版. 中坊徹次(編) 日本産魚類検索 全種の同定 第三版. pp. 3-30, 東海大学出版会, 秦野

山田和彦・工藤孝浩(2011) 三崎魚市場に水揚げされた魚類 XVI. 神奈川自然誌資料; (32): 123-126.